

2014年度 経済学部ハイド賞

懸賞論文募集

経済学部では、1921年から1922年にかけて本塾で教鞭をとられたカナダ人教授 故ダンカン・クラーク・ハイド氏が、経済学部に託された遺志を記念し、1988年度より学生諸君の学問研鑽を奨励するために「経済学部ハイド賞」を設け、懸賞論文を募集しています。今年度の募集要項は以下のとおりです。ふるってご応募下さい。

記

テーマ：日本人はアジア・世界の人々とどのようにして平和に暮らすことができるか

2010年代に入り、日本と近隣諸国との間では政治・外交上の齟齬が生じ、それによって、民間レベルでの交流や経済活動にも少なからぬ支障が出ている。さらに、PM2.5問題に象徴的な国際的環境問題などへの取組みも遅れがちである。しかし、日本人は歴史的に東アジアの隣国の人々と密接な関係を築いてきたことも事実である。政治・外交上の困難にもかかわらず、私たちは近隣諸国ひいては世界の人々とどのようにして平和的友好関係を取り結ぶことができるのか。具体的問題や懸案に焦点を当て（1つでも複数でも可）、最近の世界情勢や、日本国内の憲法論議、過去における緊密な関係構築経験などにも留意しつつ広い視野で自由に論じなさい。

1. 使用言語：日本語・英語のいずれか

2. 用字・字数（枚数）および提出部数

日本語の場合：ワープロでA4判用紙に横書き、10,000～16,000字 要旨(400～800字)を添付

英語の場合：ワープロでA4判用紙に横書き、3,000～5,000語 要旨(200～300語)を添付

提出部数：6部(コピー可)

なお、日本語・英語とも上記の字数・枚数に図表及び参考文献表は含まれません。

3. 応募資格：経済学部・学部学生 単独でも複数者による共同論文でも可。

4. 締め切り：2014年12月5日（金）16:45 締め切りを過ぎての提出は一切認めません。

5. 提出先：三田・日吉 学生部 経済学部係

6. 賞：・特賞（賞金10万円）・優秀賞（賞金5万円）・努力賞（賞金2万円）合わせて5編程度

なお、各受賞論文については、経済学部ホームページおよび学内掲示板に、受賞者氏名ならびに論文題名を掲載します。

7. 発表：2015年1月中旬の予定

8. 過去の受賞論文の閲覧について

前年度受賞論文を、<http://www.econ.keio.ac.jp/>に掲示します(塾内LANでのみ閲覧可)。

9. その他

論文執筆にあたっては、学術論文の作法に関する書物を読むことを強く勧めます。以下の教養研究センターのサイトなどを参照して下さい。<http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/ronbun/books.html>

応募論文はオリジナルであること、また他の懸賞論文や雑誌等に重複して応募・投稿していないものであることを条件とします。引用に当たっては出典を明記することにも留意して下さい。

応募論文は返却しません。受賞論文の著作権は経済学部に帰属します。

2014年6月19日

経済学部ハイド賞選考委員会委員長 長堀祐造